

# 日本消化器病学会九州支部例会

会長佐々木 裕 (熊本大学大学院医学薬学研究部消化器内科学)



# 第80回 日本消化器内視鏡学会九州支部例会

会長多田修治(済生会熊本病院消化器病センター)

# プログラム・抄録集





# 日本消化器病学会九州支部例会

# JGES 第80回

## 日本消化器内視鏡学会九州支部例会

# プログラム・抄録集

平成17年

**11月18**日金 KKRホテル熊本

能本市千葉城町3-31 TEL096-355-0121

11月19日 熊本市民会館

熊本市桜町1番3号 TEL096-355-5235 熊本市国際交流会館

能本市花畑町4-8 TEL096-359-2020

第86回 日本消化器病学会九州支部例会

会長佐々木 裕

(熊本大学大学院医学薬学研究部消化器内科学)

第80回 日本消化器内視鏡学会九州支部例会

会長多田 修治

(済生会熊本病院消化器病センター)

### ごあいさつ

第86回 日本消化器病学会九州支部例会 会長 佐々木 裕(熊本大学大学院医学薬学研究部消化器内科学)

第80回 日本消化器内視鏡学会九州支部例会 会長 多田 修治(済生会熊本病院消化器病センター)

このたび第86回日本消化器病学会九州支部例会と第80回日本消化器内視鏡学会九州支部例会を、 平成17年11月18日、19日の2日間にわたり熊本にて合同開催させていただくことになりました。

第86回日本消化器病学会九州支部例会のメインテーマは [消化器疾患診療のコンセンサスとこれからの展望]です。症例報告を中心とした一般演題発表に加え、シンポジウム、ワークショップでは炎症性腸疾患、ウイルス性肝疾患、肝がん、消化器がん、急性膵炎という日常臨床で極めて重要であり、治療法のコンセンサス、あるいは新たな治療法の確立が必要と考えられる疾患を取り上げます。治療の現状を整理するとともに、臨床研究や基礎的な研究との関連を討論し、これからの方向性を考えていきたいと思います。

また特別講演では大阪大学 林紀夫教授と鹿児島大学 坪内博仁教授に、ご専門領域について最新の知見を含めてご講演賜ります。

一方、第80回日本消化器内視鏡学会九州支部例会のメインテーマは [消化器内視鏡診療の臨床と新しい知見との融合を目指して] です。症例報告を中心とした一般演題発表に加え、シンポジウム、ワークショップでは炎症性腸疾患、内視鏡診断と病理診断の接点、ESD 切除困難例の克服など、私たちが遭遇している問題点を最新の臨床研究や基礎的研究から得られた知見とを踏まえて、活発に討論を行いたいと考えております。

特別講演では九州大学飯田三雄教授に家族性大腸腺腫症についてご講演賜ります。

さらに Up to date セミナー[合同] では、消化器疾患でのトピックスや新たな治療法を、ご専門の 先生方にご解説いただきます。またランチョンセミナー、イブニングセミナーでは、それぞれの領域 で日本をリードする先生方に治療の最前線をご紹介していただきます。

このように本合同例会では、診療のコンセンサスや新たな知見を take home message として皆様にお持ちかえりいただけるように心がけております。

熊本の11月はお城の紅葉など、とてもきれいな季節です。また少し足を伸ばしていただきますと、 天草や阿蘇の秋もご満喫いただけます。

一人でも多くの先生方のご参加を、心よりお待ちいたしております。

### 学会参加者へのご案内とお願い

### 1 ご参加の方へ

- 1) 本学会は1日目の18日金は KKR ホテル、2日目の19日生は熊本市民会館と熊本市国際交流会館での開催となります。第1日目と第2日目で会場が異なりますのでご注意下さい。
- 2) 1日目の受付は KKR ホテル1階エントランスホールにて行います。2日目は熊本市民会館1階ロビーで受付を行います。
- 3) 参加費は5,000円です。受付で参加費をお支払いいただき、ネームカードをお受け取り下さい。尚、本会では事前参加登録は行っておりません。
- 4) ネームカードは参加証となります。所属・氏名を記入し、会場内では必ず着用して下さい。再発行は致しかねますので、紛失には十分ご注意下さい。
- 5) 事前郵送された「プログラム抄録集」は、必ず学会当日は会場にご持参下さい。

### 2 発表者の皆様へ

#### 1. 発表形式・時間について

- 1) 発表はすべて演者が事前送付されたファイルによる口演とします。原則としてご自分のパソコンを持参される必要はございませんが、動画を使用するなど止む得ない場合はこの限りではありません。
- 2) 一般演題、要請演題、招聘演題の発表時間は、発表5分、質疑応答3分とします。
- 3) シンポジウム及びワークショップ、ビデオワークショップの発表時間については、各司会者からの指示に従ってください。
- 4) PC 発表においてはスライド枚数に制限はありませんが、発表時間は厳守してください。

#### 2. 発表ファイルの事前送付について

1) 発表演者の方は当日のスムーズな学会運営のために**11月11日金必着**で、ご自分の**発表ファイルを合同支 部例会事務局へ媒体にてお送り下さい**ますようご協力をお願い申し上げます。

ファイル送付先: 熊本大学大学院消化器内科学(担当: 永濱裕康、齊藤久美子)

〒860-8556 熊本市本荘1-1-1

TEL 096-373-5149 · 5150 FAX 096-371-0582

- 2) 受付可能な媒体は CD-R のみとします。必ずディスクは保護ケースに入れてお送りください。 尚、一度ご郵送された媒体のご返却はできませんので、あらかじめご了承ください。
- 3) ファイル送付後に訂正などがあった場合は、できるだけ発表ファイルの媒体を改めて送付してください。 事前に送付した発表ファイルをご自分で当日 PC 受付時に修正することはできません。
- 4) ファイルを郵送された方には、受領のご連絡を事務局からメールにておこないます。郵送時には、演者名、メールアドレス、演題番号、ファイル名を必ず明記してください。

### 3 ファイルの形式と記憶媒体について

演題発表ファイルについては以下の要項で作成してください。

- 1) 使用できる OS は Windows-XP または2000のみです。上映可能なソフトウエアは、Windows 版の Microsoft 社 PowerPoint のみです。PowerPoint バージョンは PowerPoint 2000 及び2002、2003 に対応 いたします。
- 2) PowerPoint のスライドに動画がある場合、PC によっては外部出力には動画が映らない可能性がありますので、動画の使用に際しては十分にご注意下さい。また、会場の都合上、PC による音声出力には対応しておりません。
- 3) 特殊なフォントを使用されますと、画面に表示されなかったり文字位置がズレたりする可能性があります。 使用するフォントは Windows 標準フォントのみとして下さい。

和文: MS 明朝、MS P 明朝、MS ゴシック、MS P ゴシック等

英文: Times New Roman、Times Symbol、Arial等

- 4) PowerPoint のファイルには、下記の例のように「発表日+会場名+演題番号」でファイル名を付けて保存して下さい。また、PowerPoint 書類であることを示す拡張子(.ppt)を必ず付けて下さい。
  - (例-1)18日に第1会場で演題番号52番で発表する演者のファイル名:18+1+052.ppt
  - (例 2) 修正による再送の場合、初回に送付されたファイル名の末尾に \_ 改を必ず付けて下さい。 例 1のファイル名を再送する場合:18+1+52\_ 改. ppt
- 5) 当日差し替えのために持込み可能な記憶媒体は、CD-R (ISO 9660 または Joliet フォーマットで記録した ものに限る/パケット方式はご遠慮下さい)、USB フラッシュメモリーの2種類のみです。**MO 及びフ** ロッピーディスクは受付けできません。

### 4 当日の演者受付及び PC センターについて

- 1) 両日とも学会会場内に PC センターを開設します。**演題発表者は全員 PC センターで演者受付をおこなって**ください。PC センターには常時パソコン技術者が待機しています。 受付したファイルは各会場へ配信されますので、演者自身が運ぶ必要はありません。
- 2) PC センターは両日とも各会場内の2箇所に開設します。 1日目、KKRホテルは1階エントランス(第3~5会場)と2階ロビー(第1、第2会場と第6会場)です。 2日目は市民会館2階の第2会議室(第2~6会場)と国際交流会館6階ホール(第7~9会場)です。
- 3) ファイルを郵送済みの方は、受付時にモニターに表示しますので、プレゼンテーション上映をご確認ください。
- 4) 当日差し替えのために記憶媒体を持参される方は、PC センターでの受付時にメディアからのファイル読込みとプレゼンテーションの上映確認をお願いします。
- 5) 翌日発表の方は前日の KKR で、どちらの PC センターでも受付ができます。 PC センターは毎朝8時30 分より開いております。

### 5 司会・座長の先生方へのお願い

- 1) 司会・座長の先生方は、担当セッションの開始30分前迄に総合受付にて司会・座長受付をお済ませ下さい。
- 2) 受付を済まされましたら、担当セッションの開始20分前には会場内の次座長席にご着席下さい。
- 3) 時間厳守のためランプによる警告をいたします。発表時間終了1分前に緑ランプ、終了時間になりましたら赤のランプが点灯します。時間厳守でお願いします。

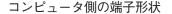
### 6 PC を持参される方へのご注意(動画を使用する場合にのみ限ります)

1) 下記図の MiniDsub-15ピンの外部出力端子付の PC をご持参下さい。なお、SONY の VAIO、SHARP の Mebius、Mac など一部の(薄型)ノート型 PC で、モニター出力端子の Dsub-15ピンが装備されていないものがあります。この端子が装備されていない PC は本体のみではプロジェクターにつなぐことができません。付属もしくは、別売のアダプターが必要です。

#### MiniDsub-15ピン

ケーブルの端子形状









- 2) 発表または待機中のバッテリー切れに備えて電源アダプターをご持参下さい。また、スクリーンセーバーやウイルス駆除ソフト等が待機中に作動しないように設定をご確認下さい。
- 3) 持込 PC に対応するプロジェクターの解像度は XGA (1024×768) のみです。

### 7 幹事・評議員の先生へ

1. 幹事会 日時:平成17年11月17日休 17:00~19:00

日本消化器内視鏡学会九州支部 17:00~18:00 日本消化器病学会九州支部 18:00~19:00

場 所: KKR ホテル熊本 2階「相生」

(熊本市千葉城町3-31 TEL096-355-0121)

2. 評議員会 日 時: 平成17年11月18日金 16:10~17:10

日本消化器病学会九州支部 16:10~16:40 日本消化器内視鏡学会九州支部 16:40~17:10

場 所: KKR ホテル熊本 2階「五峯」(第1会場)

### 8 その他

1. **情報交換会** 日 時:平成17年11月18日金 18:00~20:00

場 所: KKR ホテル熊本 2階「五峯」(第1会場)

会 費:無 料

2. 機器展示 日 時:平成17年11月19日出 9:00~16:00

場 所:熊本市民会館大ホール2階ホワイエ

3. 九州支部に関する情報は下記のホームページをご覧下さい。

日本消化器病学会九州支部 http://www.fsinet.or.jp/jsgekyu/日本消化器内視鏡学会九州支部 http://www.c-shop.net/naisi/

4. 併設研究会のご案内

第48回日本消化器内視鏡技師会九州支部会研究会

日 時:平成17年11月19日(土) 9:00~17:00

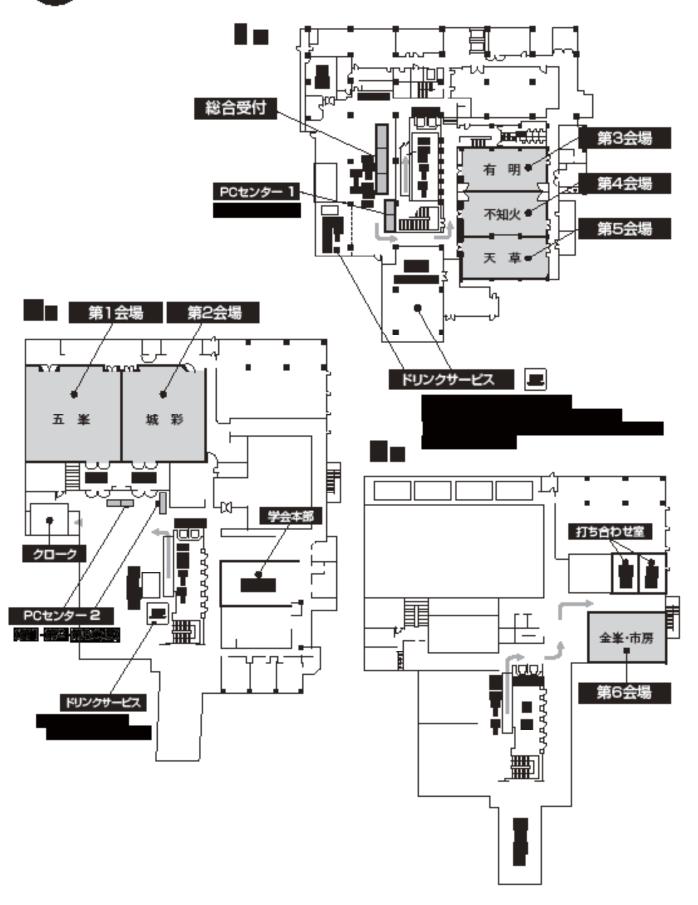
会 場 熊本市民会館大ホール

医師当番世話人:藤本 貴久(済生会熊本病院) 技師当番世話人:仲井 康裕(済生会熊本病院)

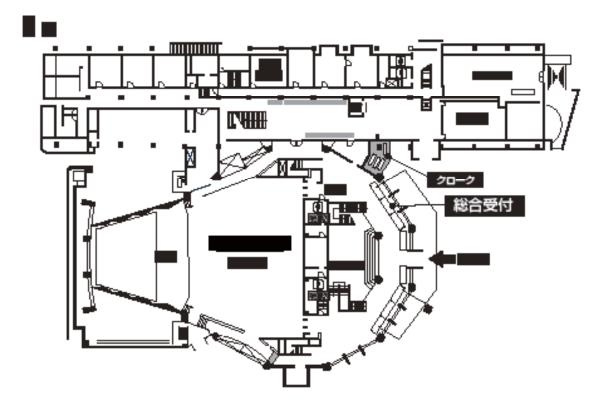
### 会場周辺図

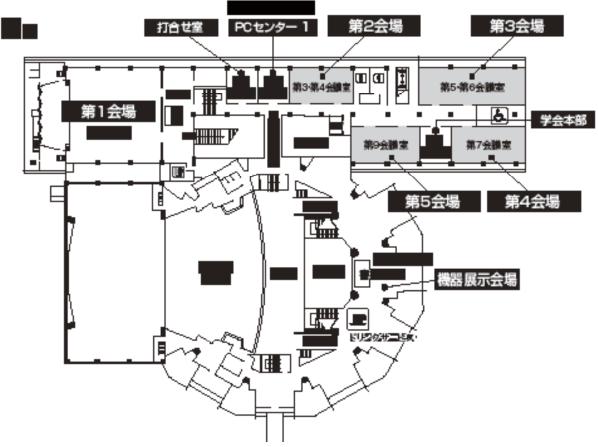




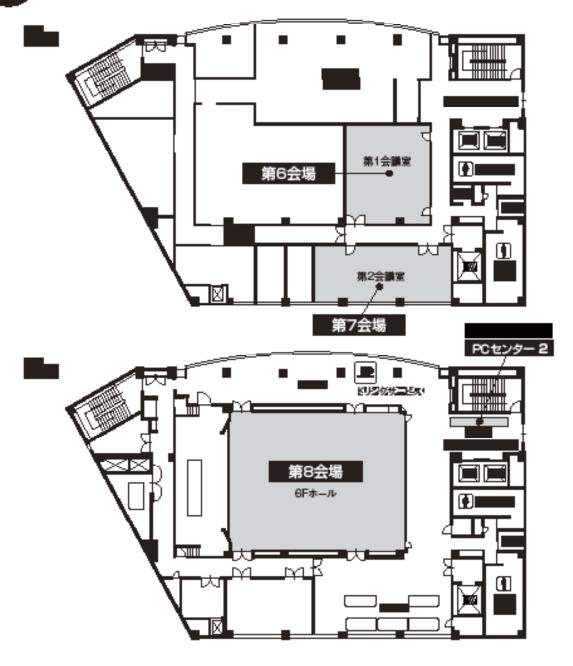
















|       | 第 🕇 会場                              | 第2会場   | 第3会場  | 第 <b>4</b> 会場                                   |
|-------|-------------------------------------|--|---|---|
| 8:50  | 五 峯(2F)                             | 城 彩(2F)  | 有明(1F)  | <b>不知火</b> (1F)                                 |
| 9:00  | 8:50~9:00 開会式                       | 9:00~11:00                                     | 9:00~10:03                                    | 9:00~9:45                                       |
|       | シンポジウム1(合同)                         | 9.00 * 11.00                                   | 肝 9.00~10.03   1                              | 肝 9.00~9.45<br><b>2 C型肝炎</b> (1) <b>014~018</b> |
|       | [炎症性腸疾患に対する]                        | 九州における消化器がん                                    | 座長:板野 哲 (久留米中央病院)                             | 座長:田中 基彦<br>(NTT西日本九州病院)                        |
| 10:00 | [免疫制御療法   _  <br> -                 | 【化学療法の現況と展望                                    |   | 9:45~10:21<br><b>C型肝炎(2) 019~022</b>            |
|       | 一人 丰楠 坎立                            |  | 10:03~10:57<br>肝がん(2) <b>008~013</b>          | 座長 <b>:桶谷 真</b><br>(鹿児島大学)                      |
|       | 司会:青柳 邦彦 (福岡大学) 岩切 龍一               | 司会:馬場 秀夫 (熊本大学)                                | 座長:別府 透                                       | 10:21~10:57<br>C型肝炎(3) <b>023~026</b>           |
| 11:00 | (佐賀大学)                              | 田村 文雄    (熊本大学)                                | (熊本大学)  | 座長:宇都 浩文 (宮崎大学)                                 |
| 11:00 | 11:00~11:50 特別講演1(内視鏡)<br>家族性大腸腺腫症: |  |   |   |
|       | 症例から研究へのアプローチ                       |  |   |   |
|       | 演者:飯田 三雄(九州大学)司会:多田 修治(済生会熊本病院)     |  |   |   |
| 12:00 |                                     | 12:00~12:50                                    | 12:00~12:50                                   | <u> </u>  |
|       |                                     | ランチョンセミナー1<br>  演者: 春間 賢(川崎医科大学)               | ランチョンセミ 演者:茶川                                 | ナー2<br>一彰(広島大学)                                 |
|       |                                     | 司会:豊永 純(久留米大学) 大塚製薬                            | 司会:向坂   | 彰太郎(福岡大学)                                       |
| 13:00 | 13:00~13:50                         |  |   |   |
|       | 特別講演2(消化器)<br>C型肝炎と自然免疫             |  |   |   |
|       | 演者:林 紀夫(大阪大学)                       |  |   |   |
| 14:00 | 司会:佐々木 裕(熊本大学)                      |  | 14,000 44,24 000 000                          |   |
|       | 14:00~16:00                         | 14:00~16:00<br>  <b>ワークショップ2(内視鏡)</b>          | 招 14:00~14:54 <b>046~051</b><br>聘 ESD         | 腫 14:00~14:54<br>瘍 リンパ腫(1) <b>057~062</b>       |
|       | 「C型肝炎進行例を                           | 内視鏡診断と   | 題 座長:緒方 伸一                                    | 座長:大地 哲史<br>(宮崎県立延岡病院)                          |
| 15:00 | いかに治療するか?  <br>  その工夫と今後の展開         |  | (佐賀県立病院好生館)<br>- 内 14:54~15:39 <b>052~056</b> | 14:54~15:39                                     |
| 15.00 | 司会:八橋 弘                             | 司会:鶴田 修  | 視 <b>検査・治療</b>  <br>  鏡   座長:高野 定             | リンパ腫(2) <b>063~067</b><br>座長:中村 雅史              |
|       | (長崎医療センター)<br>永濱 裕康                 | (久留米大学)<br>神 <b>尾 多喜浩</b><br>(済生会熊本病院)         | (熊本中央病院)                                      | (九州大学)  |
| 16:00 | (熊本大学)                              | (//L (4) 11 / 11 / 11 / 11 / 11 / 11 / 11 / 11 |   |   |
| - 30  | 16:10~17:10                         |  |   |   |
|       | 合同評議員会                              |  |   |   |
| 17:00 | . HI-JA I BXX-Z-Z-                  |  |   |   |
|       |                                     | 17:10~18:00<br>イブニングセミナー1                      | 17:10~18:00                                   |   |
|       |                                     | 演者:中原 慶太(久留米大学)                                |   | (仙台市医療センター)                                     |
| 10:00 |                                     | 司会:八尾 恒良(佐田病院) エーザイ                            | 司会:千々岩 一 武田薬品                                 | ・男(宮崎大学)  |
| 18:00 | 18:00~20:00                         |  |   | <b></b> .                                       |
| 20:00 | 情報交換会                               | L  | ]   |   |

| 第 <b>5</b> 会場<br>天 草(1F)   | 第 <b>6</b> 会場<br>金峰·市房(3F)   |                    |
|--|--|--------------------|
| 要 9:00~9:54 <b>027~032</b> 小腸内視鏡(1) 座長:金城 福則 (琉球大学) 9:54~10:39 <b>033~037</b> 小腸内視鏡(2) 座長:木庭 郁朗 (熊本地域医療センター) | 要 9:00~9:45 038~042 鏡視下手術 座長:野口 剛 (大分大学) 要 9:45~10:12 043~045 膵管狭窄症例への内視鏡的診断と治療 座長:松元 淳(鹿児島大学)                         | 9:00               |
|  |  | 11:00              |
|  |  | - 12:00            |
|  |  | - 13:00            |
| 上 14:00~14:45<br>部 胃がん(1) 068~072<br>消 座長:平川 克哉<br>(福岡赤十字病院)   | 胆<br>14:00~14:45<br><b>胆管炎・腫瘍 085~089</b><br>膵<br>座長:山口 幸二<br>(九州大学)   | 14:00              |
| 管 14:45~15:30<br>胃がん(2) 073~077<br>座長:原田 和則<br>(天草地域医療センター)<br>15:30~16:33 078~084                           | 14:45~15:30<br><b>胆道系腫瘍 090~094</b><br>座長:甲斐 真弘<br>(宮崎大学)  | - 15:00            |
| <b>胃がん・その他</b> (3)  座長:伊藤 清治 (熊本大学)  | 膵 炎     095~098       座長:田原 章成<br>(産業医科大学)       16:06~16:51       膵その他     099~103       座長:竹熊     与志       (無大き上の中間) | - 16:00            |
|  | (熊本赤十字病院)  17:10~18:00 イブニングセミナー3 演者:荒瀬 康司(虎の門病院) 司会:石橋 大海(長崎原東センター) 大日本住友製薬   | - 17:00            |
|  | L  | <sup>J</sup> 18:00 |



| 1     |                                    |                                   |  |                                    |
|-------|------------------------------------|-----------------------------------|--|------------------------------------|
|       | 第十会場                               | 第2会場                              | 第3会場   | 第4会場                               |
| 9:00  | <b>大会議室</b> (2F)                   | 第 <b>3·4会議室</b> (2F)              | 第5·6会議室(2F)  | <b>第7会議室</b> (2F)                  |
| 3.00  | 9:00~11:00                         | <b>肝</b> 9:00~9:54                | 要 9:00~9:36 116~119                                      | 9:00~9:45                          |
|       | ワークショップ3(消化器)                      | 3 肝腫瘍(1) 104~109                  | 請 <b>自己免疫性肝疾患</b><br>漢 座長:水田 敏彦(佐賀大学)                    | 部 十二指腸がん 128~132<br>消 座長: 桜井 宏一    |
|       | 肝がん治療成績の向上を                        | 座長:七島 篤志 (長崎大学)                   | 度 座長:水田 w/b (佐賀大学)<br><b>4</b> 9:36~10:12 <b>120~123</b> | (熊本大学)                             |
| 10:00 | 【目指した治療法の開発 】<br>                  |                                   | 自己免疫性肝疾患·NASH  | <b>2</b> 9:45~10:39 <b>133~138</b> |
|       |                                    | 9:54~10:48                        | 座長:下田 慎治(九州大学)<br>10:12~10:48                            | <b>十二指腸腫瘍</b><br>座長:一二三 倫郎         |
|       | 司会:田中 正俊 (久留米大学)                   | <b>肝腫瘍</b> (2) <b>110~115</b>     | 4 肝その他 124~127   | (熊本赤十字病院)                          |
|       | 金光 敬一郎                             | (福岡大学)                            | 座長:酒井 浩徳<br>(九州医療センター)                                   |                                    |
| 11:00 | (熊本大学)                             |                                   |  |                                    |
|       | 11:00~11:50<br>  <b>特別講演3(消化器)</b> |                                   |  |                                    |
|       | トランスレーショナルリサーチはどうあるべきか             |                                   |  |                                    |
|       | 演者:坪内 博仁(鹿児島大学)                    |                                   |  |                                    |
| 12:00 | 司会:佐々木 裕(熊本大学)                     |                                   |  |                                    |
| 12.00 | 12:00~12:50<br>ランチョンセミナー3          |                                   |  |                                    |
|       |                                    |                                   |  |                                    |
|       | 司会:佐田 通夫(久留米大学) 中外製薬               |                                   |  |                                    |
| 13:00 | 中外表案                               |                                   |  |                                    |
|       | 13:00~16:00                        | 13:00~13:45                       | 肝 13:00~13:36 <b>166~169 5 IFN治療後肝発がん</b>                | 13:00~13:54                        |
|       | │ ビデオワークショップ<br>│ (内視鏡)            | <b>膵がん 150~154</b>                | 座長:清家 正隆(大分大学)   | 部 食道疾患 185~190<br>消<br>化 座長:島田 信也  |
|       | [ESD切除困難例の克服]                      | (九州大学)                            | 13:36~14:12  | 管(熊本巾氏病院)                          |
| 14:00 | 一司会:宿輪 三郎                          | 13:45~14:21 <b>155~158 膵内分泌腫瘍</b> | B型肝炎 170~173   | <b>3</b> 13:54~14:48               |
|       | (長崎医療センター)                         | 座長:真栄城 兼清                         | 座長:井出 達也(久留米大学)  | GIST(1) 191~196                    |
|       | <b>菊池 陽介</b><br>(きくち胃腸科内科)         | (福岡徳洲会病院)                         | 14:12~14:57 <b>174~178</b><br>急性·劇症肝炎                    | 座長:奥島 憲彦                           |
|       |                                    | 膵腫瘍 159~165                       | 座長:中牟田 誠   | (沖縄ハートライフ病院)                       |
| 15:00 |                                    | 座長:明石 隆吉 (熊本地域医療センター)             | (九州大学)<br>14:57~15:51 <b>179~184</b> -                   | 14:48~15:42                        |
|       |                                    | (流体・63級区が、こう))                    | 門脈圧亢進症   | GIST(2) 197~202                    |
|       |                                    |                                   | 座長: <b>於保 和彦</b><br>(久留米大学)                              | 座長: <b>檜沢 一興</b><br>(九州中央病院)       |
|       |                                    |                                   | (八田八八子)  |                                    |
| 16:00 |                                    |                                   |  |                                    |
|       | 16:00~ 閉会式                         |                                   |  |                                    |
|       |                                    |                                   |  |                                    |
|       |                                    |                                   |  |                                    |
| 17:00 |                                    |                                   |  |                                    |
|       |                                    |                                   |  |                                    |
|       |                                    |                                   |  |                                    |
|       |                                    |                                   |  |                                    |
| 18:00 |                                    |                                   |  |                                    |
|       |                                    |                                   |  |                                    |

| 第5会場<br>第9会議室(2F)<br>9:00~9:45<br>カルチノイド 139~143<br>座長:八尾 隆史<br>(九州大学)<br>9:45~10:39 144~149<br>消化器がん・転移<br>座長:中島 収<br>(九州医療センター) | 9:00 -  | 第6会場<br>第1会議室(4F)<br>9:00~9:54<br>クローン病 222~227<br>座長:山田 一隆<br>(高野病院)<br>9:54~10:30 228~231<br>潰瘍性大腸炎<br>座長:吉松 眞一(熊本大学) | 第 <b>7</b> 会場<br>第2会議室(4F)<br>9:00~9:54<br>大腸がん(1) 232~237<br>座長:尾田 恭<br>(服部胃腸科)<br>9:54~10:39<br>大腸がん(2) 238~242<br>座長:松本 主之<br>(九州大学) | 第8会場 6Fホール 9:00~11:00 ワークショップ4(合同) 重症急性膵炎の治療:われわれの工夫  司会:廣田 昌彦 (熊本大学) 中村 早人 (産業医科大学)                   |
|---|---------|---|---|--|
| 当 13:00~13:45 <b>203~207</b>  | 12:00   | ты 13:00~13:45  | 当 13:00~13:45   | 12:00~12:50<br>ランチョンセミナー4<br>演者:伊藤 裕章(大阪大学)<br>司会:松井 敏幸(福岡大学)<br>田辺製薬                                  |
| 消化管出血(1)  座長:佐藤 竜吾 (大分大学)  13:45~14:21 208~211 消化管出血(2)  座長:小田 英俊 (佐世保市立総合病院)  14:21~15:06 212~216                                | 14:00 - | 13:00~13:45<br>腸炎(1) 243~247<br>座長:河野 弘志<br>(久留米大学)<br>13:45~14:21<br>腸炎(2) 248~251<br>座長:北川 晋二(福岡大学)<br>14:21~14:57    | 13:00~13:45 化   | Up-to-date セミナー  1)生活習慣病の治療方針は同じでいいのか? 藤本 一眞(佐賀大学)  2)H.pylori除菌治療の長期経過と問題点 村上 和成(大分大学)  3)進歩したB型肝炎の治療 |
| 消化管出血(3)  座長:赤星 和也 (麻生飯塚病院)  15:06~15:51 217~221  血栓症·漏出症  座長:金城 渚 (琉球大学)   | 15:00 - | 陽重積症 252~255<br>座長:大井 秀久(今村病院)<br>14:57~15:42<br>陽その他(1) 256~260<br>座長:中房 祐司<br>(佐賀大学)                                  | 陽その他(2) 270~274<br>座長:梶原 哲郎<br>(佐賀県立病院好生館)<br>15:06~16:00<br>腸その他(3) 275~280<br>座長:寺崎 久泰<br>(熊本大学)                                      | 佐田 通夫(久留米大学) 4) 肝臓移植のUp-to-date 猪股 裕紀洋(熊本大学) 司会: 1)2) 竹川 博之(熊本市民病院) 3)4) 兼松 隆之(長崎大学)                   |
|   | 16:00 - |   |   |  |
|   | 17:00   |   |   |  |

### [司会一覧]

### ■特別講演

| 特別講演 1 | KKR ホテル | 第1会場 | 11月18日金<br>11:00~11:50   | 多田 修治 | 済生会熊本病院 消化器病センター |
|--------|---------|------|--------------------------|-------|------------------|
| 特別講演 2 | KKR ホテル | 第1会場 | 11月18日金<br>13:00~13:50   | 佐々木 裕 | 熊本大学大学院 消化器内科学   |
| 特別講演3  | 熊本市民会館  | 第1会場 | 11月19日(土)<br>11:00~11:50 | 佐々木 裕 | 熊本大学大学院 消化器内科学   |

### ■ Up-to-date セミナー

| セッション <b>1</b> , <b>2</b> | 国際交流会館 | 笠 0 合相 | 11月19日(土)   | 竹川 博之 | 熊本市民病院 消化器内科      |
|---------------------------|--------|--------|-------------|-------|-------------------|
| セッション 3, 4                |        | 第8会場   | 13:00~15:30 | 兼松 隆之 | 長崎大学大学院 移植・消化器外科学 |

### ■シンポジウム

| シンポジウム 1 | KKR ホテル        | 第1会場        | 11月18日金<br>9:00~11:00 | 青柳 邦彦          | 福岡大学医学部 第3内科               |
|----------|----------------|-------------|-----------------------|----------------|----------------------------|
|          |                |             |                       | 岩切 龍一          | 佐賀大学医学部 光学医療診療部            |
| シンポジウム 2 | KKR ホテル 第 1 会場 | <b>年</b> 1  | 11月18日金               | 八橋 弘           | 国立病院機構長崎医療センター<br>臨床研究センター |
|          |                | 14:00~16:00 | 永濱 裕康                 | 熊本大学大学院 消化器内科学 |                            |

### ■ ワークショップ

| ワークショップ <b>1</b>      | KKR ホテル     | 第2会場   | 11月18日金                 | 馬場 秀夫  | 熊本大学大学院 消化器外科学      |
|-----------------------|-------------|--------|-------------------------|--------|---------------------|
| J JJ39J1              | KKII /IV /V | 为 C 云物 | 9:00~11:00              | 田村 文雄  | 熊本大学大学院 消化器内科学      |
| ワークショップ 2             | KKR ホテル     | 第2会場   | 11月18日金                 | 鶴田 修   | 久留米大学医学部 第2内科       |
| )—))jay) <b>E</b>     | KKK 小ブル     | 弗 C 云場 | 14:00~16:00             | 神尾 多喜浩 | 済生会熊本病院 中央検査センター    |
| ワークショップ 3             | 熊本市民会館      | 第1会場   | 11月19日仕)<br>9:00~11:00  | 田中 正俊  | 久留米大学医療センター 消化器科    |
| 7-99397 <b>3</b>      |             |        |                         | 金光 敬一郎 | 熊本大学大学院 消化器外科学      |
| ワークショップ 4             | 国際交流会館      | 第8会場   | 11月19日(±)<br>9:00~11:00 | 中村 早人  | 産業医科大学 第3内科         |
| 9 <del>-</del> 999994 |             |        |                         | 廣田 昌彦  | 熊本大学大学院 消化器外科学      |
| ビデオ                   | 熊本市民会館      | 第1会場   | 11月19日(土)               | 宿輪 三郎  | 国立病院機構長崎医療センター 消化器科 |
| ワークショップ               |             |        | 13:00~16:00             | 菊池 陽介  | きくち胃腸科内科クリニック       |

#### ■ランチョンセミナー

| ランチョン <b>1</b> | KKR ホテル | 第2会場   | 11月18日金<br>12:00~12:50   | 豊永 純   | 久留米大学医学部 消化器病センター |
|----------------|---------|--------|--------------------------|--------|-------------------|
| ランチョン2         | KKR ホテル | 第3·4会場 | 11月18日金)<br>12:00~12:50  | 向坂 彰太郎 | 福岡大学医学部 第3内科      |
| ランチョン3         | 熊本市民会館  | 第1会場   | 11月19日(土)<br>12:00~12:50 | 佐田 通夫  | 久留米大学医学部 第2内科     |
| ランチョン4         | 国際交流会館  | 第8会場   | 11月19日仕)<br>12:00~12:50  | 松井 敏幸  | 福岡大学筑紫病院 消化器科     |

### ■イブイングセミナー

| イブイング <b>1</b> | KKR ホテル | 第2会場   | 11月18日金<br>17:10~18:00 | 八尾 恒良  | 医療法人佐田厚生会 佐田病院             |
|----------------|---------|--------|------------------------|--------|----------------------------|
| イブイング 2        | KKR ホテル | 第3·4会場 | 11月18日俭<br>17:10~18:00 | 千々岩 一男 | 宮崎大学医学部 外科学第1講座            |
| イブイング3         | KKR ホテル | 第6会場   | 11月18日金<br>17:10~18:00 | 石橋 大海  | 国立病院機構長崎医療センター<br>臨床研究センター |

### [座長一覧]

### ■ 1日目一般演題・要請演題・招聘演題(11月18日@KKRホテル熊本)

| DT =               | 肝がん(1)            | # 0 A II             | 9:00~10:03  | 板野 哲  | 久留米中央病院 消化器内科          |
|--------------------|-------------------|----------------------|-------------|-------|------------------------|
| 肝 <b>1</b>         | 肝がん(2)            | 第3会場                 | 10:03~10:57 | 別府 透  | 熊本大学大学院 消化器外科学         |
|                    | C 型肝炎(1)          |                      | 9:00~9:45   | 田中 基彦 | NTT西日本九州病院 肝臓・消化器内科    |
| 肝2                 | C 型肝炎(2)          | 第4会場                 | 9:45~10:21  | 桶谷 真  | 鹿児島大学医学部·歯学部附属病院 消化器内科 |
|                    | C 型肝炎(3)          |                      | 10:21~10:57 | 宇都 浩文 | 宮崎大学医学部 第2内科           |
| 而建学的。              | 小腸内視鏡(1)          | 笠 F 会担               | 9:00~9:54   | 金城 福則 | 琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部    |
| 要請演題 1             | 小腸内視鏡(2)          | 第5会場                 | 9:54~10:39  | 木庭 郁朗 | 熊本地域医療センター 消化器科        |
| 要請演題 2             | 鏡視下手術             | 第6会場                 | 9:00~9:45   | 野口 剛  | 大分大学医学部 第2外科           |
| 要請演題3              | 膵管狭窄症例への内視鏡的診断と治療 | 第6会場                 | 9:45~10:12  | 松元 淳  | 鹿児島大学医学部附属病院 光学医療診療部   |
| 招聘演題               | ESD               | 第3会場                 | 14:00~14:54 | 緒方 伸一 | 佐賀県立病院好生館 内科           |
| 内視鏡                | 検査・治療             | 第3会場                 | 14:54~15:39 | 高野 定  | 熊本中央病院 外科              |
| 腫瘍 1               | リンパ腫(1)           | ₩ 4 Δ <del>+</del> E | 14:00~14:54 | 大地 哲史 | 宮崎県立延岡病院 外科            |
| □ 牌杨 ▮             | リンパ腫(2)           | 第4会場                 | 14:54~15:39 | 中村 雅史 | 九州大学大学院 腫瘍制御学          |
|                    | 胃がん(1)            |                      | 14:00~14:45 | 平川 克哉 | 福岡赤十字病院 消化器内科          |
| 上部消化管 1            | 胃がん(2)            | 第5会場                 | 14:45~15:30 | 原田 和則 | 天草地域医療センター 外科          |
|                    | 胃がん・その他(3)        |                      | 15:30~16:33 | 伊藤 清治 | 熊本大学大学院 消化器内科学         |
|                    | 胆管炎·腫瘍            |                      | 14:00~14:45 | 山口 幸二 | 九州大学大学院 臨床・腫瘍外科学       |
| 明 . <del>联</del> 1 | 胆道系腫瘍             | <b>左○</b> △担         | 14:45~15:30 | 甲斐 真弘 | 宮崎大学医学部 第1外科           |
| 胆・膵 <b>1</b><br>   | 膵炎                | 第6会場                 | 15:30~16:06 | 田原 章成 | 産業医科大学 第3内科            |
|                    | 膵その他              |                      | 16:06~16:51 | 竹熊 与志 | 熊本赤十字病院 消化器科           |

### ■ 2日目一般演題・要請演題(11月19日① 熊本市民会館)

|              | 肝腫瘍(1)        |              | 9:00~9:54   | 七島 篤志  | 長崎大学医学部附属病院 第1外科                  |
|--------------|---------------|--------------|-------------|--------|-----------------------------------|
| 肝 3          | 肝腫瘍(2)        | 第2会場         | 9:54~10:48  | 早田 哲郎  | 福岡大学医学部第3内科                       |
|              | 自己免疫性肝疾患      |              | 9:00~9:36   | 水田 敏彦  | 佐賀大学医学部附属病院 肝臓・糖尿病・内分泌内科          |
| 要請演題 4       |               | 第3会場         |             |        | 1_2 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
|              | 自己免疫性肝疾患·NASH |              | 9:36~10:12  | 下田 慎治  | 九州大学大学院 病態修復内科学                   |
| 肝 4          | 肝その他          | 第3会場         | 10:12~10:48 | 酒井 浩徳  | 国立病院機構九州医療センター 消化器科               |
| 上部消化管 2      | 十二指腸がん        | 第 4 会場       | 9:00~9:45   | 桜井 宏一  | 熊本大学大学院 消化器内科学                    |
|              | 十二指腸腫瘍        | 为 4 云物       | 9:45~10:39  | 一二三 倫郎 | 熊本赤十字病院 消化器科                      |
| 腫瘍 2         | カルチノイド        | 第5会場         | 9:00~9:45   | 八尾 隆史  | 九州大学大学院 形態機能病理学                   |
|              | 消化器がん・転移      | 为 5 云物       | 9:45~10:39  | 中島 収   | 国立病院機構九州医療センター 臨床検査科              |
|              | 膵がん           |              | 13:00~13:45 | 有田 好之  | 九州大学大学院 病態制御内科学                   |
| 胆·膵2         | 膵内分泌腫瘍        | 第2会場         | 13:45~14:21 | 真栄城 兼清 | 福岡徳洲会病院 外科                        |
|              | 膵腫瘍           |              | 14:21~15:24 | 明石 隆吉  | 熊本地域医療センター ヘルスケアセンター              |
|              | IFN 治療後肝発がん   | 第3会場         | 13:00~13:36 | 清家 正隆  | 大分大学医学部 第1内科                      |
| 肝 <b>5</b>   | B 型肝炎         |              | 13:36~14:12 | 井出 達也  | 久留米大学医学部 第2内科                     |
| MT 5         | 急性·劇症肝炎       |              | 14:12~14:57 | 中牟田 誠  | 九州大学大学院 病態制御内科学                   |
|              | 門脈圧亢進症        |              | 14:57~15:51 | 於保 和彦  | 久留米大学医学部 第2内科                     |
|              | 食道疾患          |              | 13:00~13:54 | 島田 信也  | 熊本市民病院 外科                         |
| 上部消化管 3      | GIST(1)       | 第4会場         | 13:54~14:48 | 奥島 憲彦  | 沖縄ハートライフ病院 外科                     |
|              | GIST (2)      |              | 14:48~15:42 | 檜沢 一興  | 公立学校共済組合九州中央病院 内科                 |
|              | 消化管出血(1)      |              | 13:00~13:45 | 佐藤 竜吾  | 大分大学医学部附属病院 消化器内科                 |
| 当化答 1        | 消化管出血(2)      | <b>第5</b> 全担 | 13:45~14:21 | 小田 英俊  | 佐世保市立総合病院 消化器科                    |
| 消化管 <b>1</b> | 消化管出血(3)      | 第5会場         | 14:21~15:06 | 赤星 和也  | 麻生飯塚病院 消化器内科                      |
|              | 血栓症・漏出症       |              | 15:06~15:51 | 金城 渚   | 琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部               |

### ■ 2日目一般演題 (11月19日 ) 熊本市国際交流会館)

| 下部消化管 1 | クローン病   | 第6会場 | 9:00~9:54   | 山田 一隆 | 大腸肛門病センター 高野病院      |
|---------|---------|------|-------------|-------|---------------------|
|         | 潰瘍性大腸炎  |      | 9:54~10:30  | 吉松 眞一 | 熊本大学大学院 消化器内科学      |
| 下部消化管 2 | 大腸がん(1) | 第7会場 | 9:00~9:54   | 尾田 恭  | 服部胃腸科               |
|         | 大腸がん(2) |      | 9:54~10:39  | 松本 主之 | 九州大学大学院 病態機能內科学     |
| 消化管 2   | 腸炎(1)   | 第6会場 | 13:00~13:45 | 河野 弘志 | 久留米大学医学部 第2内科       |
|         | 腸炎(2)   |      | 13:45~14:21 | 北川 晋二 | 福岡大学医学部 放射線科        |
|         | 腸重積症    |      | 14:21~14:57 | 大井 秀久 | 慈愛会今村病院 消化器内科       |
|         | 腸その他(1) |      | 14:57~15:42 | 中房 祐司 | 佐賀大学医学部附属病院 一般消化器外科 |
|         | 感染症(1)  | 第7会場 | 13:00~13:45 | 水口 昌伸 | 佐賀大学医学部 放射線科        |
| 消化管 3   | 感染症(2)  |      | 13:45~14:21 | 櫻井 俊弘 | 町立芦屋中央病院            |
|         | 腸その他(2) |      | 14:21~15:06 | 梶原 哲郎 | 佐賀県立病院好生館 放射線科      |
|         | 腸その他(3) |      | 15:06~16:00 | 寺崎 久泰 | 熊本大学大学院 消化器内科学      |

# ランチョンセミナー

12:00~12:50

ランチョンセミナー 1 11月18日 第 1 日目 第 2 会場 (KKRホテル熊本2 F / 城彩)

### 鳥肌胃炎の内視鏡像と病態

睯 演者:川崎医科大学 内科学(食道・胃腸科) 春間 豊永 司会: 久留米大学医学部 消化器病センター

共催:大塚製薬株式会社

ランチョンセミナー 2 11月18日 第 1 日目 第3·4会場 (KKRホテル熊本1 F / 有明・不知火)

### B 型慢性肝炎治療の最近の話題

演者:広島大学大学院 分子病態制御内科学

茶山 一彰

司会:福岡大学医学部 第3内科

向坂 彰太郎

共催: グラクソスミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 3 11月19日 第2日目 第1会場(熊本市民会館2F/大会議室)

C 型慢性肝炎に対する治療戦略 -治療法選択の根拠は何か-

演者: 武蔵野赤十字病院 消化器科

泉 並木

司会: 久留米大学医学部 第2内科

佐田 通夫

共催:中外製薬株式会社

ランチョンセミナー 4 11月19日 第2日目 第8会場 (熊本市国際交流会館/6Fホール)

「これからのクローン病の治療

伊藤 裕章 演者:大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

松井 敏幸 司会:福岡大学筑紫病院 消化器科

共催:田辺製薬株式会社

# イブニングセミナ

17:10~18:00

胃癌の深達度診断: 内視鏡・X 線所見と病理所見との対比

中原 慶太 演者: 久留米大学医学部 第2内科 八尾 恒良 司会:医療法人佐田厚生会 佐田病院

共催:エーザイ株式会社

イブニングセミナー2 11月18日 第1日目 第3·4会場(KKRホテル熊本1F/有明·不知火)

## 胆道疾患の内視鏡的診断と治療

演者: 仙台市医療センター 消化器内科 藤田 直孝 千々岩 一男 司会: 宮崎大学医学部 外科学第1講座

共催: 武田薬品工業株式会社

イブニングセミナー 3 11月18日 第1日目 第6会場 (KKRホテル熊本3F/金峰・市房)

# 「慢性ウィルス性肝疾患治療と肝発がん防止」

演者:国家公務員共済組合連合会虎の門病院 肝臓センター 荒瀬 康司 司会:国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 石橋 大海

共催:大日本住友製薬株式会社

# 特別講演

1 11月18日金 11:00~11:50 KKRホテル熊本 第1会場 (五峯)

司会: 済生会熊本病院 消化器病センター 多田 修治

家族性大腸腺腫症:症例から研究へのアプローチ

九州大学大学院医学研究院 病態機能內科学 飯田 三雄

2 11月18日金 13:00~13:50 KKRホテル熊本 第1会場(五峯)

司会:熊本大学大学院医学薬学研究部 消化器内科学 佐々木 裕

### C型肝炎と自然免疫

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 林 紀夫

**3** 11月19日 11:00~11:50 熊本市民会館 第1会場(大会議室)

司会:熊本大学大学院医学薬学研究部 消化器内科学 佐々木 裕

トランスレーショナルリサーチはどうあるべきか - "HGF肝再生医療"プロジェクトの経験から

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患·生活習慣病学 坪内 博仁

司会:済生会熊本病院 消化器病センター 多田 修治

## 家族性大腸腺腫症:症例から研究へのアプローチ

飯田 三雄 九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学

欧米では、大腸腺腫が多発し常染色体優性遺伝の形式をとる遺伝性大腸癌家系の存在が1800年代後半より 報告されていた。当初は大腸腺腫数100個以上が家族性大腸腺腫症(FAP)診断の目安とされていた。一方、 大腸腺腫症に加えて骨・軟部腫瘍を合併する Gardner 症候群の概念も確立されていた。しかし、1970年代ま では大腸以外に腫瘍性病変を認めない狭義の家族性大腸ポリポーシス(FPC)と Gardner 症候群は別個の遺 伝性疾患と考えられていた。演者らの研究グループは1970年代より、内科、外科、および消化管病理のそれ ぞれの立場から、大腸腺腫症家系の病理学的特徴と臨床徴候の解析を開始した。そのなかで、演者は FPC と Gardner 症候群の大腸外消化管病変の陽性率に差がないことを明らかにした。すなわち、両疾患が本質的に 同一疾患であることを臨床的に証明しえたが、これは1991年にクローニングされた adenomatous polyposis coli(APC)遺伝子が両疾患の原因遺伝子であることで実証された。演者らはその後も大腸腺腫症家系を積 み重ねることにより、本症の自然史、上部消化管における genotype-phenotype correlation や Helicobacter pylori 感染の関与などについて研究を行ってきた。さらに、近年報告された MYH 遺伝子ホモ変異による大腸 腺腫症の臨床的特徴も明らかにしつつある。我々の家族性大腸腺腫症のデータを通じて、症例の集積と徹底し た臨床像の解析が臨床研究の基本であることを強調し、若手臨床研究者への提言としたい。

# Up-to-date セミナー

11月19日 13:00~15:30 熊本市国際交流会館 第8会場

司会:熊本市民病院消化器内科 竹川 博之

生活習慣病の治療方針は同じでいいのか? :胃食道逆流症と Metabolic syndrome

佐賀大学医学部内科学

藤本 一道

② 「H.pylori 除菌治療の長期経過と問題点 ]

大分大学医学部消化器内科

村上 和成

司会:長崎大学大学院 移植・消化器外科学 兼松 隆之

3 [ 進歩した B 型肝炎の治療 ]

久留米大学医学部第二内科

佐田 通夫

4 「肝臓移植の Up-to-date ]

熊本大学医学部附属病院 小児外科/移植外科 猪股 裕紀洋

司会:熊本市民病院消化器内科 竹川 博之

### 生活習慣病の治療方針は同じでいいのか? :胃食道逆流症と Metabolic syndrome

佐賀大学医学部内科学 藤本 一眞

食生活を中心とする生活の欧米化とともに増加してきた疾患は少なくない。消化器領域では、大腸疾患、肝胆道系疾患と伴に、胃食道逆流症が問題となっている。生活習慣病として注目されているのが Metabolic syndrome であり、肥満への糖尿病、高血圧、高脂血症の合併である。今回は胃食道逆流症と Metabolic syndrome に焦点をあて、以下に示すような視点にたってどのような治療方針でのぞめばいいかを具体的に示していきたい。

いずれの疾患の基本的治療方針は、薬物療法と生活指導の併用である。しかしながら、実際のアプローチの方法は両疾患では異なったものとなる。胃食道逆流症の場合には、プロトンポンプ阻害剤やH2受容体拮抗剤などの酸分泌抑制剤を中心とする薬物療法で患者の症状を十分にコントロールすることが第一となる。症状がある程度おちつき患者・医師関係が成立してから、生活習慣の改善にはいるわけであるが、この場合は指導というよりは患者と一緒に考えながら生活習慣の改善をはかるという姿勢が大切になる。どのような生活状況が胃食道逆流症によくないかは患者自身がよくわかっていることが多く、そのことを確認するだけで治療的効果を生む。一方、Metabolic syndrome の場合に薬物療法は可能な限り、導入を遅らせることが重要である。もともとの病因が肥満にあるわけだから、体重を減少させる以外の治療法はできるだけ避け、体重を減少させることに焦点を絞る必要がある。体重減少で血糖値、コレステロール値、中性脂肪値、血圧が改善することを患者自身に確かめさせ、体重を減少させることがいかに治療的に意味のあることかを自覚させることが大切である。もちろん薬物療法が必要になることはしばしばあるが、できるだけその時期を遅らせ、患者には体重の減少が治療の基本であることを十分に自覚させることが長期的に予後を考えると重要である。

司会:熊本市民病院消化器内科 竹川 博之

# [ H.pylori 除菌治療の長期経過と問題点 ]

大分大学医学部消化器内科 村上 和成

| H.pylori 除菌治療が保険適用となり5年が経過し、除菌後の長期経過例が観察されるようになってきた。消                           |
|---|
| 化性潰瘍症例の再発や、二次除菌法・耐性菌の問題、さらには除菌成功後の GERD、除菌後の胃癌発生など                              |
| の問題点が浮上し議論されるようになってきた。まずクラリスロマイシン $(CAM)$ 耐性菌の増加が、全国規模                          |
| の H.pylori 耐性菌サーベイランスから報告されており、今後の除菌率の低下が危惧されている。除菌不成功                          |
| の最大の原因は CAM 耐性菌であり、二次除菌においてはいくつかのレジメの中で、CAM をメトロニダゾー                            |
| $\nu \left( \mathrm{MNZ} \right)$ に変えた三剤併用治療が有用である。また、除菌成功例の潰瘍再発は除菌判定までの早期に認めら  |
| れ、その原因は除菌成功後の急激な酸分泌の回復と胃粘膜炎症(単核球浸潤)の持続の両者によるものと考え                               |
| られる。われわれの検討では、この間の H2ブロッカーの維持療法が潰瘍再発抑制に有用である。除菌成功例                              |
| の長期経過において、粘膜萎縮や腸上皮化生が改善し、さらに胃癌の発生が抑制されるかどうかは依然とし                                |
| てコントラバーシャルである。当科における除菌後長期経過の胃粘膜組織学的変化を、癌関連因子や増殖因                                |
| 子の免疫染色と合わせてお示しする。また、除菌群からも長期経過で胃癌の発生は認められることは事実で                                |
| あり、組織学的に低分化・未分化型も多く含まれてくることも報告されており、除菌成功後も定期的な内視                                |
| 鏡観察が必要である。除菌後の $H.pylori$ 再感染率は当科の検討では年 $2.0\%$ 程度であり、これは欧米の報告よ                 |
| りも高い。この中で1年以降の再出現例ではCAM耐性率は32%程度で、除菌失敗例と異なりCAMを含む                               |
| 除菌法もある程度有用と考えられる。除菌後に逆流性食道炎の発生は増加しないことが一般的になってきたが                               |
| ウルヤマサ炉 DNA / A 学研究 ・ ハマウ B と フトンと と M マロ D B T 大学 A CDDD と D の と 文字 、 知点 B N 用マ |
| 高齢者で萎縮が強く食道裂孔ヘルニアがあるような症例では、除菌後の GERD 症状の注意深い観察が必要で                             |
| 高齢者で委補が強く食道裂孔へルニアかめるような症例では、除困後のGERD症状の注意深い観察が必要であろう。                           |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |

# シンポジウム

**§1** 11月18日金 9:00~11:00 KKRホテル熊本 第1会場(五峯)

## 炎症性腸疾患に対する免疫制御療法

司会:福岡大学医学部 第3内科

佐賀大学医学部 光学医療診療部

青柳 邦彦

岩切 龍一

**\$2** 11月18日金 14:00~16:00 KKRホテル熊本 第1会場(五峯)

C型肝炎進行例をいかに治療するか? その工夫と今後の展開

司会:国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

八橋 弘永濱 裕康

熊本大学大学院 消化器内科学

### S1-01

当院における潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法 42例の検討

佐賀大学医学部 消化器内科

○雨森貞浩、岩切龍一、下田 良、坂田資尚、山口加奈子、 大谷 響、綱田誠司、坂田祐之、藤本一眞

【目的】2000年4月より、活動期潰瘍性大腸炎に対する治療法として、白血球除去療法が保険適応となり、近年その有効性に関して次々と報告がなされている。今回、我々は当院で施行した潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の有効性につき検討した。

【対象および方法】当院にて1998年4月から2005年4月までの7年間に当院にて加療した潰瘍性大腸炎患者のうち、外来での治療維持が困難となった中等症以上症例42例を対象とし、治療効果、ステロイド減量効果を検討した。

【結果】42例中、男性19例、女性23例であり、GCAP18例、LCAP24例であった。また、clinical activity indexでの評価では、いずれの症例も6以上であった。治療効果については著効12例、有効22例、不変8例であった。GCAPでは著効2例、有効13例、無効3例。LCAPでは著効8例、有効11例、無効5例であり、両者に有意な差は認めなかった。白血球除去施行群ではステロイド総投与量の減少、投与期間の短縮が認められた(施行群1124.1mg,43.0日、非施行群3346.6mg、63.8日)。また、clinical activity indexの高い症例、特に16を越える症例に無効例が多く認められた。

【結論】白血球除去療法との併用でステロイド投与量の減量 と治療期間の短縮が期待できる可能性があるが、活動性の 高い症例では無効例も多く認められ、免疫抑制剤、外科的 手術を併せた治療を選択していく必要があると考えられる。

### S1-02

潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の作用機序の 検討:骨髄細胞動員および炎症性シグナル発現に 及ぼす影響

1) 久留米大学医学部 第2内科、2) 同 消化器病センター

○光山慶一<sup>1)</sup>、富安信夫<sup>1)</sup>、増田淳也<sup>1)</sup>、山崎 博<sup>1)</sup>、 高木孝輔<sup>1)</sup>、豊永 純<sup>2)</sup>、佐田通夫<sup>1)</sup>

【目的】活動期潰瘍性大腸炎における白血球除去療法 (LCAP)の有効性が明らかにされている。しかしその作用機序についてはまだ不明な点が多い。今回、LCAPによる骨髄細胞の動員能、白血球の炎症性シグナル発現に及ぼす影響ついて検討した。

【方法】活動期潰瘍性大腸炎患者に対してLCAPを施行し、治療前後での末梢血を経時的に採取した。(1)LCAP前後での総白血球数およびその分画の推移を検討した。(2)G-CSFを含む培養液を用いたin vitroでのコロニーアッセイと、FACSによるCD34陽性細胞数の測定により、末梢血における骨髄細胞の存在を検討した。(3)末梢血への骨髄細胞の誘導因子を検討するため、造血性サイトカインであるG-CSF、M-CSF、GM-CSF、IL-6の血清濃度をELISAにより測定した。さらに辺縁プールに存在する白血球の動員に関与するepinephrineの血漿濃度をHPLCにより測定した。(4)LCAP前後での白血球の炎症性サイトカイン蛋白およびmRNA、細胞内シグナル伝達(NF-kB、MAPK、TLR4)の発現の変化をそれぞれELISA、DNA array、Western blot、FACSにより検討した。

【成績】(1) LCAP 施行中に末梢血白血球数の一過性の低下と、その後の幼若白血球の出現を伴う著明な増加がみられた。(2) LCAP 施行前の潰瘍性大腸炎患者の in vitroでのコロニー数と CD 34 陽性細胞数は健常人と同等であったが、LCAP 施行後にはともに有意に増加した (p < 0.0001、p = 0.0372)。(3) G-CSF、M-CSF、GM-CSF、IL-6、epinephrineの血中濃度は LCAP 施行後には白血球での一連の炎症性シグナル発現は低下していた。

【結論】LCAP は末梢血中に骨髄細胞を動員させることで 治療効果を発揮している可能性が示唆された。今度、動員 された骨髄細胞の機能、予後との関連をさらに検討する必 要がある。

### S1-03

潰瘍性大腸炎に対する制御性 T 細胞移入療法開発の 試み

九州大学大学院 病態制御内科学

○中村和彦、隅田頼信、金山兼司、高橋 誠、水谷孝弘、 本田邦臣、秋穂裕唯

CD4<sup>+</sup>CD25<sup>+</sup>制御性 T 細胞は広範囲にわたる免疫反応を 高度に制御する作用を有し、自己免疫疾患等の疾患治療へ の応用が期待されている。制御性 T 細胞は実験大腸炎モ デルで腸炎を強力に抑制することより、我々はこの細胞を 用いた炎症性腸疾患の新規治療法について検討している。 我々は炎症性腸疾患における末梢血制御性T細胞の割合 を解析し、潰瘍性大腸炎では制御性T細胞の比率が疾患 活動性と逆相関し、活動期で低下している事を明らかにし た。一方、クローン病においては、制御性T細胞の低下 は認めなかった。この事より潰瘍性大腸炎においては末梢 血制御性T細胞の低下が大腸炎の増悪、進展に関与して おり、制御性T細胞を体内に補充、移入する事が腸炎の 抑制に働く可能性が示唆された。潰瘍性大腸炎患者に対す る血球成分除去療法(遠心分離法)にて末梢血より分離・ 除去された白血球より磁気ビーズを用いて制御性T細胞 が高純度に分離可能であり、また、潰瘍性大腸炎患者より 分離された制御性 T 細胞は、健常人と同様に免疫制御活 性を有していた。以上より、理論的には血球成分除去療法 との組み合わせで、制御性 T 細胞移入療法の施行が可能 であり、現在、臨床での使用が可能な GMP 基準に準拠し た分離法の確立など、更なる検討を進めている。

### S1-04

免疫制御療法おける末梢血リンパ球表面マーカーの 検討

九州大学大学院 病態機能内科学

○矢田親一朗、松本主之、城 由起彦、飯田三雄

【目的】炎症性腸疾患のリンパ球は接着因子とそのリガンドを介した過剰反応を示し、欧米ではICAM/LFA-1を標的とした治療が開発されている。そこで、顆粒球・単球除去療法(GCAP)と infliximab の末梢血リンパ球 LFA-1発現に与える影響を検討した。

【方法】活動期潰瘍性大腸炎(UC)17例(男性6例、女性11例、平均年齢41歳)、および活動期 Crohn病(CD)19例(男性12例、女性7例、平均年齢28歳)を対象とし、治療前と4週後に末梢血リンパ球 LFA-1の mean fluorescence intensity (MFI)を測定した。CD は中心静脈栄養療法(TPN)群(n=14)と infliximab 投与群(n=5)で、UC はプレドニゾロン単独(PSL)群(n=10)とプレドニゾロン・GCAP併用(GCAP)群(n=7)で有効率とLFA-1の MFIを比較した。Crohn's disease activity index (CDAI)ないし ulcerative colitis activity index (UCAI)150点未満、あるいは70点以上の低下を有効とした。

【結果】(1) UC: 有効率は GCAP 群 68%、PSL 群 80% であった。治療前の LFA-1の MFI は PSL 群 (1435 ± 340) と GCAP 群 (1453 ± 255) で差はなく、各群で治療後に有意に低下した (PSL 群: 1079 ± 384, p<0.05; GCAP 群: 1232 ± 391, p<0.05) が、治療後も2 群間で差を認めなかった。(2) CD: 有効率は TPN 群 64%、infliximab 群 100%であった。治療前の MFI は infliximab 群 (1753 ± 1065) と TPN 群 (1621 ± 481) で差はなかった。TPN 群では治療後の MFI は不変であった (1803 ± 633, p=0.32) が、infliximab 群では有意に低下し (1084 ± 336, p<0.05)、両群で治療後の MFI に有意差を認めた (p=0.025)。

【結語】末梢血リンパ球 LFA-1は UC と CD の病態に関与することが示唆された。Infliximab は強力な LFA-1発現抑制作用を有するが、GCAP はその作用は小さいと推測された。

# 招聘演題

要請演題

一般演題

### 11月18日金 KKR ホテル熊本

### **肝 1** 9:00~10:57 第**3**会場(有明)

肝がん(1) 9:00~10:03 座長:板野 哲(久留米中央病院 消化器内科)

001 巨大肝細胞癌で著明な低血糖症を併発した1例

福岡徳洲会病院 総合内科 石田 素子

**002** FDG-PET が肝外病変の局在診断に有用であった肝細胞癌骨転移の1症例

福岡大学医学部 第3内科 櫻井 邦俊

003 正常肝に発生した巨大な単純結節型中分化型肝細胞癌の1例

済生会熊本病院 消化器病センター 采田 憲昭

004 肝原発小細胞癌の一例

九州大学大学院 病態機能内科学 梁井 俊一

005 扁平上皮癌への分化を伴った混合型肝癌の1例

国立病院機構九州医療センター 肝臓病センター 伊藤 心二

006 自然消失した肝細胞癌及び多発性肺転移の一例

新小倉病院 内科 谷本 博徳

007 右房内腫瘍塞栓が放射線治療で退縮した肝細胞癌の一例

国立病院機構九州がんセンター 太田 聡

肝がん(2) 10:03~10:57 座長:別府 透(熊本大学大学院 消化器外科学)

**008** TAE でコントロール不良であった diffuse type の HCC に対し、シスプラチンの one shot 動注が

 奏効した一例
 熊本大学大学院 消化器内科学 福林光太郎

**009** 5FU・インターフェロン動注療法にて、門脈腫瘍塞栓が消失した B 型肝細胞癌の一例

熊本大学大学院 消化器内科学 藤江 里美

**010** 多発肝細胞癌に対する IFN-β併用 5-FU 肝動注療法にて腫瘍縮小とともに肝機能の改善を認めた1例 大分大学医学部附属病院 消化器内科 杉 さおり

011 肝左葉表面に存在する肝細胞癌に対するラジオ波焼灼時の工夫

福岡大学筑紫病院 消化器科 野間栄次郎

012 肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術による横隔膜損傷の2例

佐賀大学医学部 内科学 熊谷 貴文

**013** 肝細胞癌の開胸下 RFA 施行5ヶ月後に肝膿瘍発症した C 型肝炎の一例

大分大学医学部 消化器内科 姫野 克郎

### **注 2** 9:00~10:57 第 **4** 会場(不知火)

C型肝炎(1) 9:00~9:45 座長:田中 基彦(NTT西日本九州病院 肝臓・消化器内科)

**014** C 型慢性肝炎に対する PEG-IFN α2b+ribavirin 併用療法中の HCV 動態

国立病院機構 九州医療センター 肝臓病センター 後藤 和人

**015** C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン/リバビリンの使用経験

麻生飯塚病院 肝臓内科 千住 猛士

**016** PEG インターフェロン $\alpha$ 2b +リバビリン投与中に末梢性顔面神経麻痺をきたした1例

熊本労災病院 濱田 広海

**017** PEG-IFNα-2a 投与中に HUS (溶血性尿毒症症候群)をきたした1症例

福岡赤十字病院 肝臓内科 池田 正和

018 C 型慢性肝炎に対する PEG-IFN + リバビリン併用療法中に自己免疫性肝炎と甲状腺機能亢進症を 発症した一例 佐賀県立病院好生館 内科 藤中 良彦

 $\mathbb{C}$  型  $\mathbb{F}$   $\mathcal{L}(2)$  9:45 $\sim$ 10:21 座長:桶谷 真 (鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 消化器内科)

- **019** 低用量インターフェロン $\alpha$ -2b とリバビリン併用療法にて著効が得られた HCV+HIV 併発血友病の1例 鹿児島大学病院消化器内科 田ノ上史郎
- 020 Helicobacter pylori 除菌療法後にインターフェロン治療を施行し得た特発性血小板減少性紫斑病合併 C型慢性肝炎の1例 国立病院機構小倉病院 肝臓病センター・臨床研究部 岡田
- **021** IFNα2b+リバビリン併用療法により著効が得られた血小板低値の進行したC型慢性肝炎の2症例 隼人町立医師会医療センター 消化器内科 指宿 和成
- **022** C 型慢性肝炎に対するインターフェロン治療中に1型糖尿病を発症した2症例

公立八女総合病院 内分泌代謝内科 村石 和久

C型肝炎(3) 10:21~10:57 座長:宇都 浩文(宮崎大学医学部 第2内科)

023 インターフェロン投与終了後に著明な肝機能の低下を認め急速に肝硬変へ進展した一例

国立病院機構九州医療センター 肝臓病センター 消化器科 池田 次郎

**024** 感染後に急速に線維化が進行した高齢者の C 型慢性肝炎の一例

熊本大学大学院 消化器内科学 徳永 哲夫

**025** 茵ちん蒿湯投与後 ALT の上昇を伴い HCVRNA が陰性化した糖尿病合併 C 型肝硬変症の1例 大分大学医学部 消化器内科 清家 正隆

026 肝庇護治療により治癒が確認された超高齢 C 型急性肝炎の一例

NTT 西日本九州病院 肝臓·消化器内科 緒方賢一郎

#### 001 巨大肝細胞癌で著明な低血糖症を併発した 1例

福岡徳洲会病院 総合内科

○石田素子、松本修一、筋浦立成

【症例】83歳男性【病歴】14年前にB型慢性肝炎の診断うけ以降他院 を定期受診していたが6年前に自己中断した。3年前家族に勧められて 当院肝臓内科受診。HBs 抗原陽性、HBe 抗体陽性、HBV-DNA < 3.7 LGE/mlで、肝細胞癌(2cm大)を指摘された。肝細胞癌に対して治療を 受け、しばらく外来通院したが、再び自己中断していた。6ヶ月前に症 状はないが肝機能検査を希望して当科受診。検査上は肝機能は保たれ ていたが、理学上心窩部から左季肋下に6cm程肝を触知、腹部エコーと CT上、巨大肝細胞癌(stage4A15cm大、AFP 64100ng/ml、PIVKA2 3250mAU/ml)を認め、根治治療は不可能な状態と判断し保存的治療で 外来通院していた。入院4日前より、生汗と気分不良を自覚、歩行困難 や呂律不良も認めるようになった。入院同日昼、意識障害が出現し、当 院搬入となった。搬入時、意識障害と著明な低血糖(23mg/dl)を認め、 転移性肺腫瘍を同時に指摘、肝細胞癌 (stage 4B) の進行と判断した。 【経過】ブドウ糖投与により症状は速やかに改善、低血糖時の血中インス  $U > < 0.1 \mu U/ml$ , ACTH17pg/ml, fT4 1.14ng/dl, TSH 0.51 $\mu$ IU/ml, ACTH 負荷試験の反応は良好、AFP 141000ng/ml、PIVKA2 23800 mAU/mlと腫瘍マーカーの著明な上昇を認め、傍腫瘍症候群による低血 糖症と考えられた。血糖上昇のため、ステロイド内服導入やグルカゴン持 続投与を考慮して負荷試験を施行したが、充分な反応は得られず、日中の 頻回の糖分経口摂取と夜間のブドウ糖点滴で対症療法を行なうしかない状 態であった。肺病変に伴うと考えられる呼吸苦と酸素化の低下を認める ようになったが、在宅での療養希望強く、訪問看護での在宅点滴と在宅 酸素を導入して退院。約1週間在宅で過ごせたが、ブドウ糖の持続点滴 でも改善しない低血糖と呼吸不全の進行あり来院、3日後に永眠した。 【まとめ】巨大肝細胞癌に伴う難治性の低血糖症を来たした症例を経験 した。肝細胞癌に伴う傍腫瘍症候群としての低血糖症は IGF-2の産生 が関与していると考えられており、本症例もその存在が疑われた。肝細 胞癌の緩和ケアとして在宅点滴、在宅酸素導入を行ったが、難治性の低

## 003 正常肝に発生した巨大な単純結節型中分化型 肝細胞癌の1例

1) 済生会熊本病院 消化器病センター、2) 同 外科センター、3) 同 画像診断センター、4) 同 病理

血糖症へのよりよい対応を考察する。

○采田憲昭<sup>1)</sup>、上川健太郎<sup>1)</sup>、近澤秀人<sup>1)</sup>、今村治男<sup>1)</sup>、宮瀬秀一<sup>1)</sup>、 多田修治<sup>1)</sup>、須古博信<sup>1)</sup>、荒井光広<sup>2)</sup>、志垣信行<sup>2)</sup>、廣田和彦<sup>3)</sup>、 神尾多喜浩<sup>4)</sup>

今回、モザイクパターンを呈さず、広い中心壊死を伴った通常とは異なる画像所見を呈した、巨大中分化型肝細胞癌の1例を経験したので報告する。

【症例】患者は64歳、男性。検診にて肝腫瘍を指摘。過去に肝機能障害 の既往および飲酒歴はいずれもなく HBs 抗原および HCV 抗体は陰性 であった。体外式腹部超音波検査にて肝左葉外側区域に10×9cm大の類 円型の境界明瞭な充実性腫瘤を認めた。腫瘍内部は低エコーで、中心部 に不整型のさらにエコーレベルの低い領域を有していた。モザイクパ ターンは認めなかった。カラードップラーでは中心部の低エコー部分の 内部より辺縁へと向かう血流信号を認めた。腹部単純CTでは境界明 瞭な低吸収域の類円型の腫瘍であり、造影早期では腫瘍辺縁部はほぼ 均一に造影され、晩期にて wash out された。中心部分は造影効果を認 めず壊死部と考えられた。腹部 MRI にて腫瘍実質部は、非腫瘍部と比 較してT1強調像で等信号~低信号、T2強調像で高信号を呈し、SPIO 造影後T2では信号低下を認めなかったため肝細胞癌と診断した。肝予 備能良好にて平成17年5月26日肝左葉胆嚢合併切除術を施行。肉眼所 見として単純結節型の充実性腫瘍であり、腫瘍内部は壊死を伴ってい た。腫瘍は厚い線維性被膜に覆われており被膜外浸潤を認めず、また腫 瘍内部の線維性隔壁形成は認めなかった。肝細胞索および類洞は不規則 な柵状配列を形成し、一部には偽線管構造を認めたため中分化型の肝 細胞癌と診断した。また背景肝は炎症や線維化を伴わない正常肝組織で あった。通常の結節型進行肝細胞癌は多段階発育や脱分化を示すモザイ クパターンを呈することが多い。本症例ではモザイクパターンは認めら れず、中心部の広い壊死と合わせて正常肝から発生した肝細胞癌の急速 な増大によるものと考えられた。同腫瘍の画像所見による文献的考察を 加え報告する。

### 002 FDG-PET が肝外病変の局在診断に 有用であった肝細胞癌骨転移の1症例

- 1) 福岡大学医学部 第3内科、2) 同 第2外科、
- 3) 村上華林堂病院 内科
- ○櫻井邦俊¹)、中根英敏¹)、高田和英¹)、森原大輔¹)、小山泰寛¹)、 喜多村祐次¹)、釈迦堂敏¹)、入江 真¹)、岩田 郁¹)、早田哲郎¹)、 向坂彰太郎¹)、加藤文章²)、山本 聡²)、司城博志³)

FDG-PET (F-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography) は生体内の糖代謝状態を画像化する検査法で悪性腫瘍の 局在診断に有用であるが、肝細胞癌の肝外病変の検索においてはその 有効性は確立されていない。今回、我々は FDG-PET にて診断し得 た肝細胞癌骨転移の1症例を経験したので報告する。症例は68歳、男 性。1994年にC型慢性肝炎と診断され加療されていたが、1998年に肝 細胞癌を発症し、2002年7月まで4回の局所療法を施行され、腫瘍マー カー (PIVKA-II) は正常化していた。2004年より PIVKA-II の再上 昇が認められ、同年11月にはPIVKA-Ⅱ 178mAU/mlまで上昇。CT Angiography の所見より肝細胞癌局所再発と診断されラジオ波焼灼術 を施行されたが、PIVKA-Ⅱは高値のまま推移していた。2005年4月に 入り PIVKA-II が上昇傾向にあったため肝外転移が疑われ、胸部 CT 検査、骨シンチグラフィーなど全身検索を行われたが、転移巣は指摘さ れず同年6月に FDG-PET を施行された。画像所見上は右第8肋骨およ び右大腿部に異常集積が認められた。後日施行した MRI にて右大腿部 の病変は神経鞘腫が考えられたが、右第8肋骨の病変は肝細胞癌の骨転 移巣が疑われたため、7月13日に肋骨切除術を施行された。病理組織に て肝細胞癌骨転移と診断された。その後の経過は良好で PIVKA-Ⅱは 徐々に低下している。本症例においては骨シンチグラフィーより FDG-PET が肝細胞癌骨転移の局在診断に有用であったが、その理由として 肝細胞癌の転移病巣の組織が中分化型であり糖代謝が亢進していたこ と、病変が小さく骨シンチグラフィーと比較して分解能が高い FDG-PET の方が検出力に優れていたことなどが考えられた。

### 004 肝原発小細胞癌の一例

(消)

- 1) 九州大学大学院 病態機能内科学、2) 同 形態機能病理学、3) 同 臨床腫瘍外科、4) 同 病態修復内科学
- 〇梁井俊一 $^{1)}$ 、松本主之 $^{1)}$ 、矢田親一朗 $^{1)}$ 、東 晃 $^{-1)}$ 、黒田陽 $^{2)}$ 、八尾隆史 $^{2)}$ 、杉谷 篤 $^{3)}$ 、草場仁志 $^{4)}$ 、飯田三雄 $^{1)}$

症例は75歳、男性。腹部症状はなく、スクリーニングのため施行し た上部消化管内視鏡で高度異型の胃腺腫を指摘され平成17年5月24 日当科紹介入院となった。入院時、AST16IU/ml、ALT9IU/ml、 Hbs 抗原・HCV 抗体ともに陰性、ICG 7.4%と肝機能は正常であっ たが、ALPの軽度上昇(449IU/ml)およびCEA 高値(32.5ng/ml) を認めた。腹部超音波では肝S6に3cm大の低エコー性腫瘤を認め た。造影 CT では、同腫瘤は径33mmで遅延性に濃染された。ProGRP 290. 1pg/ml、NSE 10. 0ng/mlと高値であったため、転移性肝腫瘍を 疑い、FDG-PET を含めた全身精査を施行したが肝以外に明らかな原 発巣を認めなかった。肝生検では小細胞癌の組織像が得られた。以上 より、肝原発の小細胞癌と診断した。S6に限局し、全身状態も良好で あったことから、外科的切除を予定していたが、5週後の腹部CTでは 多数の肝内転移が出現していた。平成17年7月20日よりシスプラチン (80mg/m<sup>2</sup>)、VP-16(100mg/m<sup>2</sup>)の化学療法を開始したところ、2クー ル後の腹部 CT にて腫瘍径の縮小および肝内転移の消失を認めた。現 在、外来にて経過観察中である。肝原発小細胞癌は、過去に5例の報告 をみるのみで、自験例は、稀な症例と考えられた。

### 第86回日本消化器病学会九州支部例会 第80回日本消化器内視鏡学会九州支部例会

合同事務局:熊本大学大学院医学薬学研究部 消化器内科学

〒860-8556 熊本市本荘 1-1-1

TEL: 096-373-5149·5150 FAX: 096-371-0582 E-mail: shoukaki@kaiju.medic.kumamoto-u.ac.jp http://jsgek.umin.jp/

制作・印刷:Secand (株)セカンド

熊本市水前寺 4-39-11

TEL: 096-382-7796 FAX: 096-386-2025